

ハッピーリリー

～川口市の花は鉄砲ユリです。皆様と「住んでよかった。これからも住み続けたい」と思える幸せなまちをつくりたいと思います。～

岡村 通信



発行責任者: 岡村 ゆり子
〒333-0821
埼玉県川口市東内野528-10
TEL 048-295-3043

vol. 25
2019. 1



平成30年12月定例会一般質問

川口市議会では、平成30年11月29日より開会し、12月13日に7回目の一般質問に登壇いたしました。議会が止まり、22時20分からの発言となりました。一問一答形式で行い、質問・答弁を一部抜粋し、ご報告させていただきます。

1 投票率向上について

- (1) 来年の統一地方選挙について
- (2) 主権者教育の取り組み状況と今後について
- (3) 投票所の見直しについて

2 学校教育について

- (1) 色覚チョークの導入について
- (2) 小学校における民間企業との連携について
- (3) スクールロイヤーについて

3 川口グルメについて

- (1) 川口ラーメンフェスについて
- (2) グルメと街並みの融合について

4 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成について

- (1) 事前キャンプ地誘致活動の現状
- (2) 障がい者スポーツ大会の開催について
- (3) 本市にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンへの周知について

5 災害時の備えについて

- (1) 小学校での防災セットの配布について
- (2) 避難所の環境整備について

6 市民に愛される公園について

- (1) 公園内のトイレについて
- (2) 指定管理となる公園の基準について

7 認知症検診の助成について

8 市民の皆さまからの声

- (1) 赤山陣屋にある倉庫について
- (2) 木曾呂の富士塚について
- (3) 外国人対策について
- (4) グリーンセンターでのストライダー大会の開催について
- (5) 駅周辺のたばこ環境について
 - ア川口駅東口喫煙所について
 - イ東川口駅の禁止エリアについて
- (6) 町会・自治会への加入促進について



2 学校教育について(1)色覚チョークの導入について

質問:色弱者にも色の識別がしやすくなったのが色覚チョークであり、特殊な素材を使うことで一般のチョークより色がクリアに見えるのが特徴で、価格も従来のチョークとほぼ同額となっている。色覚チョークを導入・使用すれば、色弱者の児童を含めたすべての児童が従来のチョークよりも黒板の文字が見やすくなるだけでなく、教員が2色のチョーク以外も気兼ねなく使用することが可能になり、その結果、学習環境の向上が見込まれる。市内小中学校で色覚チョークを導入していただきたいが、いかがか。

答弁:平成31年度から管理用消耗品リストに、色覚チョークを追加してまいる。さらに、抽出校による色覚チョーク調査を行い、有効性について検証し、その結果を学校訪問や教職員研修及び市立校長会議等を通じて周知していく。

3 川口グルメについて(2)グルメと街並みの融合について

質問:西川口西口は中国やトルコなど様々なグルメタウンとなっている。各エリアに合った異国風の街並みに整備することにより、商店街の活性化にも繋がると考える。経済部の商店街再生事業として、できるところからの整備を行っていいか。

答弁:交流人口の増加に有効であると考えられるが、整備方針や整備予算など多くの問題もある。まずは地元商店会の意向などをうかがい、調査研究していく。

再質問:大規模な予算をかけ、整備を提案しているのではない。ガードレールや街灯などできる範囲の整備を行ってほしいと言っている。このままでは何も進まない。現状経済部が把握している課題について、再度ご答弁願いたい。

答弁:外国人の経営による店舗が多くあることから、商店街への加盟、町会への参加など、まずは地域との相互理解を促進することが課題であると考えている。

5 災害時の備えについて(1)小学校での防災セットの配布について

質問:小学校に入学した際に、入学祝として、水やパン、サバイバルシートなどをひとまとめにし、配付してはいかがか。防災意識の向上や防災教育にも繋がると考える。

答弁:防災意識を高めるには有効であると考えますが、予算確保や保管方法に課題があることから、避難訓練や小・中合同の引渡し訓練の実施など積極的に行っていく。

7 認知症検診の助成について

質問:国の調べでは、65歳以上の7人に1人は認知症であろうと言われている。そのようななか、早期の相談、発見が大切で、診断すれば治療ができることもあるとされている。現在埼玉県では、認知症検診助成制度を実施しているが、本市も県の助成制度を受けられるようにできないか。

答弁:県の認知症検診事業は、対象も期間も限定的になっていることから、受診率やその効果について、他市の状況を見ながら研究していく。

岡村 ゆり子 プロフィール:

- ・昭和56年4月、川口市東内野に生まれる。
- ・川口市立差間小学校・北中学校、私立恵泉女学園高等学校、フェリス女学院大学 文学部 卒業、明治大学専門職大学院ガバナンス研究科 終了
- ・父・幸四郎の事務所を手伝いながら、テレビ局に勤務。(2014年7月に退社)
- ・趣味 スポーツ観戦(リーグ開幕以来、浦和レッズ一筋です。)、筋トレ、フラワーアレンジメント
- ・好きな言葉 志あるところに道は開ける
- ・所属委員会 総務常任委員会 住環境整備・人口問題特別委員会

☆☆☆☆☆ やめよう 無関心。まちの未来はあなたから。

元気いっぱい37歳。☆☆☆☆☆



<討議資料>